

二葉ファッションアカデミー 学校関係者評価報告書

2020年度（令和2年度）

2021年 7月28日

学校法人古屋学園
二葉ファッションアカデミー

二葉ファッションアカデミー 学校関係者評価報告書について

本学は1937年（昭和12年）の創立以来、ファッションデザイナーの森英恵先生をはじめとする多くの卒業生をファッション業界へ輩出してまいりました。

常に時代の変化を見据え教育内容の改善に取り組んできた中、より一層の教育の質向上を目的に、2011（平成23）年4月に自己点検及び評価等実施委員会を規定し組織的な体制を構築。2013（平成25）年11月には学校関係者評価委員会を設立、以降毎年学校関係者評価を実施しております。

委員の皆様からの貴重なご意見を、教育及び学校運営に反映させることで改善活動に努めております。

また2015（平成27）年には、文部科学省委託事業「ファッション分野における職業実践専門課程の質保証の評価を推進する事業」に参画、試行事業としてアパレル企業、業界団体、大学教授等の有識者で構成された第三者評価を受審、適切な学校運営がなされていると認定されました。

しかしながら、若年人口の減少に加え、進路の多様化による入学者数減少に対する抜本的な改革については改善するに至りませんでした。今後、大幅に学生・生徒が増加する要因も見当たらず、法人として強く求められる安定性・継続性に応えていくため、止む無く理事会において募集停止の決議に至り、2023年3月をもって閉校することになりました。

ここに2020年（令和2年）度の学校運営に対する学校関係者評価を公表、在校生全員が卒業に至るまでの間、これまで以上に質の高い教育の実践に繋げ、責任をもって社会に送り出すべく教職員一同全力を尽くして参る所存でございます。

2020年7月28日

学校法人 古屋学園

二葉ファッションアカデミー

校長 小川 万紀子

学校関係者評価委員

委員長

【専修学校団体】

(公社)東京都専修学校各種学校協会 常任理事

多摩地区専修学校協議会 顧問

東京YMCA医療福祉専門学校 相談役

八尾 勝

委員

【関係業界】

八王子ファッション協議会 前会長

ヤマタカ捺染工場 代表

山口 智己

【卒業生・関係業界】

水野商店(ユニフォーム製造卸) 営業部長

水野 好彦

オブザーバー

【学校側参加者】

二葉ファッションアカデミー 校長

小川 万紀子

二葉ファッションアカデミー 教務主任

粕谷 徳之

二葉ファッションアカデミー 部長

吉野 たけし

2021年 第1回学校関係者評価委員会

6月30日(水)

二葉ファッションアカデミー(オンライン会議)

15時00分~16時30分

次回委員会開催月日 2021年12月1日(水)15時からを予定

基準 1 教育理念・目的・育成人材像

基準 2 学校運営

基準 3 教育活動

基準 4 教育成果

基準 5 学生支援

基準 6 教育環境

基準 7 学生の募集と受け入れ

基準 8 財務

基準 9 法令等の遵守

基準 10 社会貢献

基準毎の評価

基準 1 教育理念・目的・育成人材像等

教育理念・目的・育成人材像は明確に定められ、学校関係者だけではなく学外にも公表されている。これまで職業実践専門課程の認定や試行事業としての第三者評価受審を通して、選ばれる学校を目指し質の高い職業教育を実践してきたが、学生数の減少という抜本的な改革については改善するに至らなかった。今後、大幅に学生・生徒が増加する要因も見当たらず、法人として強く求められる安定性・継続性に添えていくため、止む無く理事会において募集停止の決議に至り、2023年3月をもって閉校することとなった。

基準 2 学校運営

FUTABA 中期計画として新たに3ヵ年計画を学園で策定した。2020年度の単年度計画として、1. 職業英語の学習を全職員参加（授業、OC）で実施する、2. 学園全体で1年を通し「うがい」「手洗い」の習慣化を取り入れる、3. それぞれの学校行事を3校一元化を前提に捉え計画・実行する、の3点が明示され、これに沿った学校運営を展開した。

2020年度はコロナ禍により、多くの授業や学外実習の変更を余儀なくされたが、教務主任が中心となりオンライン授業に必要なアプリケーションの活用を教員が習得、早期から双方向型のオンライン授業を導入したことで、学生・生徒の学習機会の逸失を最小限に留めることができた。

基準 3 教育活動

コロナ禍のなか、確実に人材ニーズが変わってきた。職種ごとのスキルの多様性と高い資質が求められている。特にデジタル知識は必須であり、コロナ禍により校内学生用 Wi-Fi 環境を整えたことで、デジタル教育が進む結果となった。各種検定試験資格取得については、試験の中止や延期となった。各種検定試験合格率はバラつきが出る結果となった。

基準 4 教育成果

高等課程の進路決定率は100%、専門課程の就職率は82%となった。退学率は高等課程が0%、専門課程は13.8%となった。コロナ禍のなか早期からの就職活動により、専門課程の就職希望者に対する就職率は100%となった。

専門課程の退学率は高い数値ではあるが、昨年度より減少した。2019年度より取り入れているスクールカウンセラーによる効果が表れていると思うので、今後も継続したい。

基準5 学生支援

専門課程、高等課程ともに定期のキャリアガイダンスを行うことで進路決定及び就職に繋げている。学生・生徒の健康管理については、保健室にベッド及び医薬品を常備。2021年度からはベッドを電動型に変更、定期的に医師が在駐することとした。保護者会はコロナ禍によりオンラインで実施。学生・生徒のボランティア活動は分野の特性上（学習課題が多い）積極的とはいえないが、作品販売の売上金の一部を社会福祉協議会へ継続的に寄付を行っている。卒業生のネットワーク構築は課題である。

基準6 教育環境

レーザー加工機やUVプリンター等のデジタル機器を充実させ、業界ニーズに対応した教育環境を整えている。高等課程では助成金を活用して、生徒一人に1台ノートパソコンを貸与している。専門課程・高等課程ともに企業等との連携実習を「オカド染色工業」の協力により例年の日程を変更して行うことが出来た。実習のなかで、抗菌加工を行うことで機能面でのファッションの学びに繋がった。商品として製作したエコバッグとマスクは完売となった

基準7 学生の募集と受け入れ

専門課程では資料請求者は増加したが、出願者数は14名となった。高等課程では資料請求者数が減少、入学者は0名となった。これらのことから、今後大幅に学生・生徒が増加する要因も見当たらず、理事会において募集停止の決議に至る。

基準8 財務

財務諸表については学園ホームページにて公開。教育活動収入は前年比0.8億円増の8.9億円。学生数増と高等教育修学支援新制度施行に伴う未収入金減少が寄与した。教育活動支出は目標の8.0億円に対して、実質7.5億円と下回る結果となったが、コロナ禍による経費削減によるものが大きい。引き続き会計処理を除外して8.0億円を目標としたい。これらにより、事業活動収支差額比率は10.1%と前年より改善され、平均9.3%を若干上回った。

人件費比率は42.2%と昨年を下回り、ほぼ平均の42.0%まで改善した。

総負債比率は、15.2%と着実に改善され平均18.6%を下回った。

財務状況は、借入金総額3.5億円、流動資産17.9億円となり、教育活動支出2年分以上の流動資産を積み重ねることができた。流動資産の内訳は、現預金10.1億円、債権等の安全性金融商品等3.2億円、株式等の収益性商品4.4億円、その他未収金0.12億円となっている。

基準9 法令等の遵守

学校運営において法務に関する事項、行政指導、所轄庁からの通知及び専修学校設置基準を遵守している。教育基本法・学校教育法の把握とともに学校保健法や消防法等についても改定ごとに迅速な対応を心がけている。

コロナ禍のなか行政からの通知・通達が煩雑化しており、教職員の負担増大による教育の質の低下を招かぬよう注意している。

基準10 社会貢献

2020年度はコロナ禍により、地域団体等との接触を伴う活動を活発には行えなかった。学生オリジナルショップ「二葉ファッションマルシェ」の売上金の一部を社会福祉協議会へ寄付を行う活動は継続した。

以上

評価委員から拝聴した主な質疑応答

(質疑)

- ・ 学生、生徒数が減ったなかで、学校内は変わったのか？ (山口委員)

(応答)

- ・ 減ったといっても一度に減ったということではないので、学生・生徒の様子に大きな変化はない。教員は今まで以上に学習内容の充実に努めている。

(質疑)

- ・ オンライン授業を取り入れたことで授業の遅れはないのか？ (水野委員)

(応答)

- ・ 実質オンラインでの授業は2020年の4月・5月の2ヵ月間であり、6月からは対面授業を取り入れた為、大きな遅れはない。

(質疑)

- ・ 閉校を前に、学生のモチベーションが下がらないようにしてほしい。(水野委員)

(応答)

- ・ 卒業生、在校生には申し訳ない気持ちで一杯である。在校生には閉校にはなるが

二葉に入学して良かったと言ってもらえるよう、教職員一丸となって学生・生徒に向き合っている。

(質疑)

- ・ファッション校はこれまで積極的に地域団体等と連携されてきたが、栄養校、製菓校とも共有されているのか？(八尾委員)

(応答)

- ・共有している。ファッション校で開催した「男のエプロン教室」は、もともと栄養校で開催した「男の料理教室」の番外編として開催。今後も学園全体で地域との連携を図っていく。

(質疑)

- ・高等課程の閉校は残念である。収入源確保の一つとして調理分野等の高等課程の継続は考えなかったのか？(八尾委員)

(応答)

- ・衣・食・住を中心とした高等課程、調理師養成の高等課程なども検討したが、実習室確保が物理的に困難であること等の理由から断念した。

(質疑)

- ・オリジナルブランド「ha-ha」は今後どのように展開するのか？(八尾委員)

(応答)

- ・ライフスタイルショップとしてオンラインで販売。間もなくサイトが完成予定。衣服に拘ることなく、食品等も幅広く手掛けていく。

(質疑)

- ・財務状況での未収金 0.12 億円は多いのではないかと？(八尾委員)

(応答)

- ・内訳は、当年度が 800 万円、過年度が 400 万円となっている。学園全体の学生数から考えれば、決して多い数字とは捉えていない。

以上、基準 1 から基準 10 の項目について適切に学校運営が行われており、2020 年度(令和 2 年度)の学校関係者評価とする。



学校法人古屋学園
二葉ファッションアカデミー
〒180-0003 東京都武蔵野市吉祥寺南町 1-3-2

学校関係者評価報告書についてのお問い合わせ先
学校関係者評価委員会 TEL 0422-44-3161